

IoT時代の 経営へ

“未来を創る”
挑戦

2015年 2月 9日

株式会社リコー 代表取締役 会長執行役員

近藤 史朗

リコーのビッグデータ活用事例の紹介

◆遠隔サポートシステム「@リモート」

- @リモートとは、インターネットに繋がるリコーのお客様機器(複合機・プリンター)をリモートサポートするシステム
- 2004年:@リモートによるサービス開始
 - (1)リモート保守サポート (2)トナー自動配送サービス (3)機器使用状況の管理
- 2007年:プロダクション・プリンティング機での故障予測システムの試行
- 2009年:消費電力・CO2排出レポートサービス開始
- 2014年:MFP機を対象に本格的な故障予測システム開始

【導入の狙い】

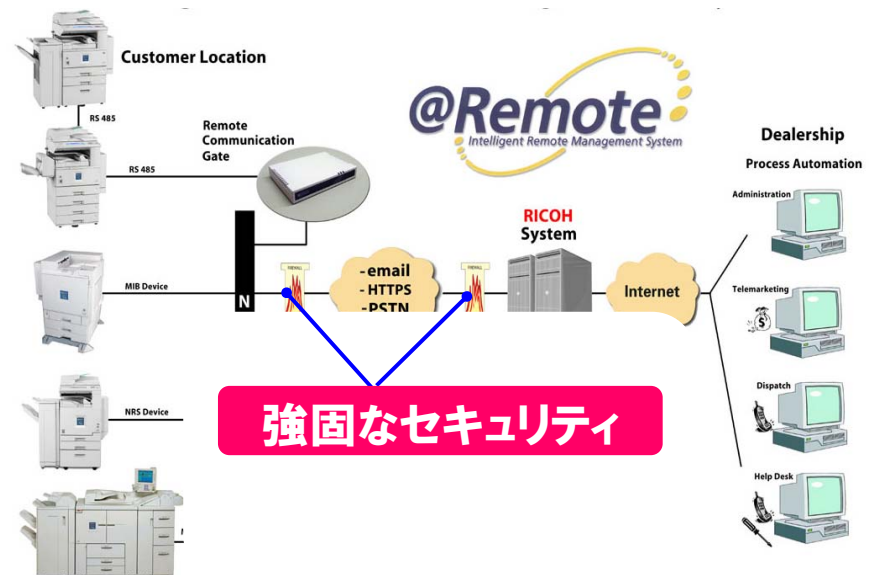
故障自動通報

カウンター値の自動検針

トナーの自動配送

ご使用状態報告書

リモートでソフト・アップデート



◆ IoTの時代は膨大なデータが集まる

- IoT化された製品、スマートフォン、タブレット等の爆発的な普及によって、巨大なデータが企業に集まるようになる

◆ 巨大なデータの中には宝が埋まっているが、掘り出さないと 価値が見えない

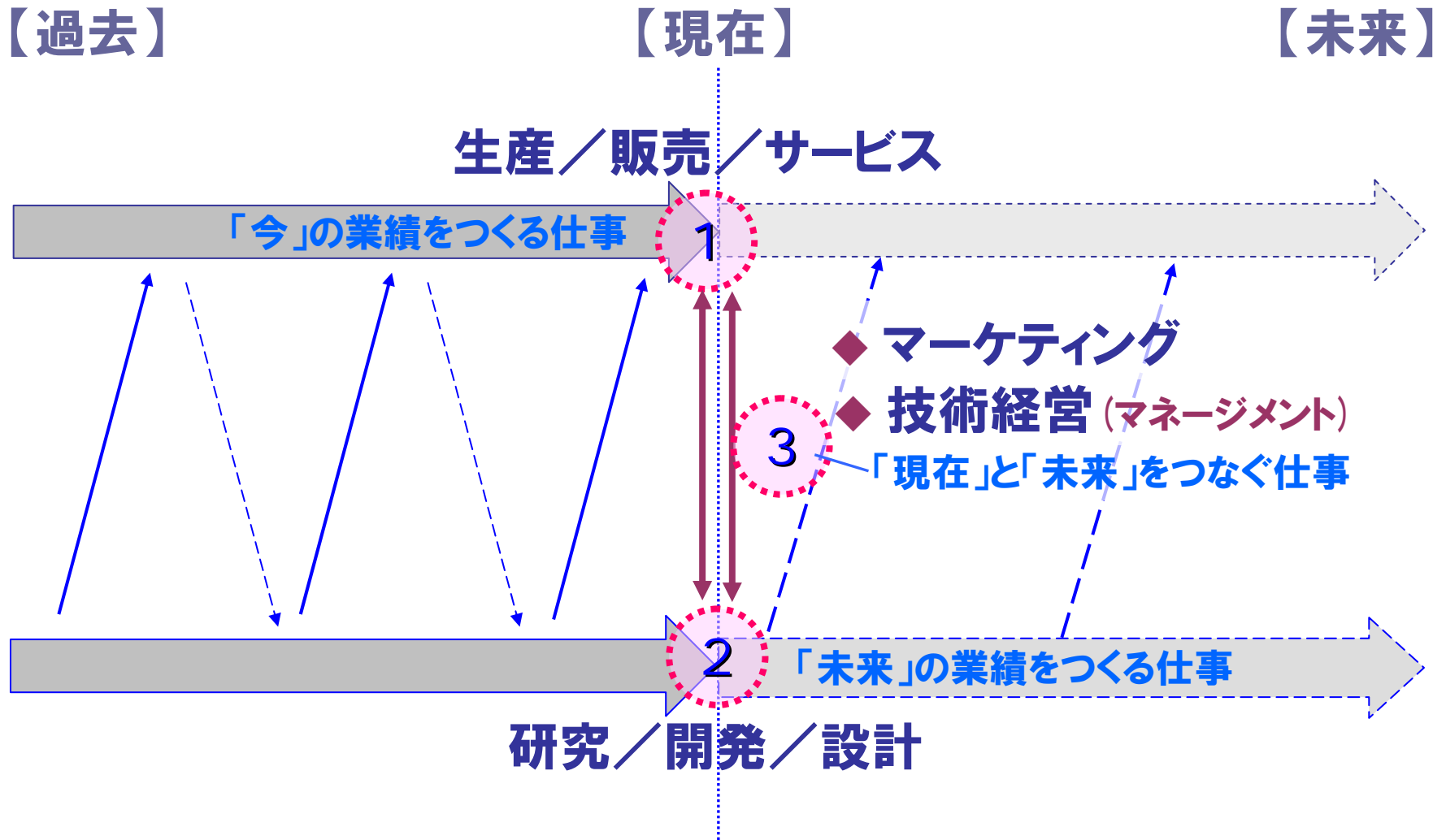
- IoTの時代は、ビッグデータを分析・活用する高い能力の獲得が企業の競争力の重要な要素になる

◆ 未来起点で発想をするための強力なツールは、高度なビッグデータ分析

- 徹底的なビッグデータ分析は「見えていない現在」と「これから起こる未来」を知るヒントを与える

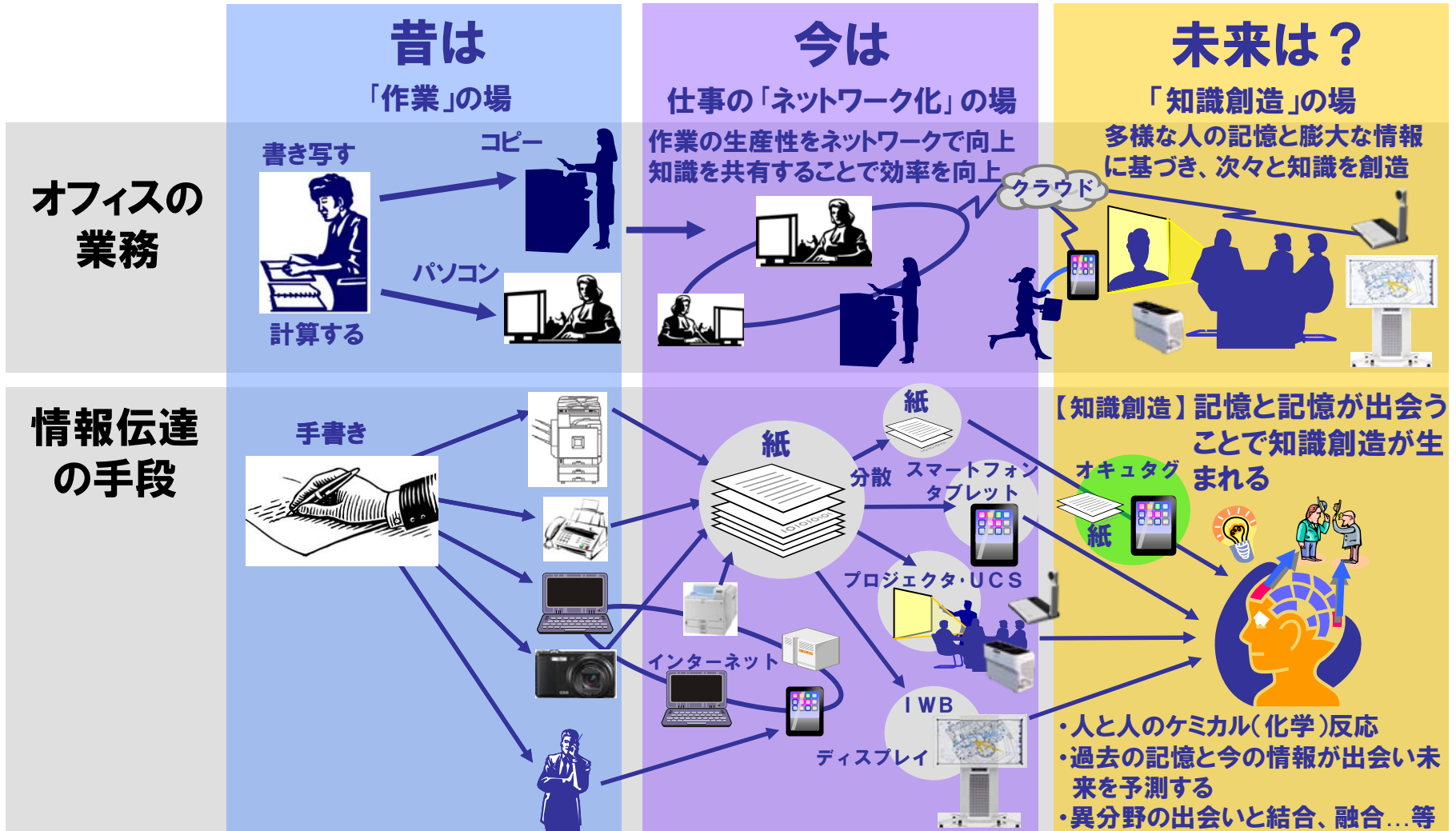
経営の「現在起点」と「未来起点」

◆ 技術経営とマーケティングの役割



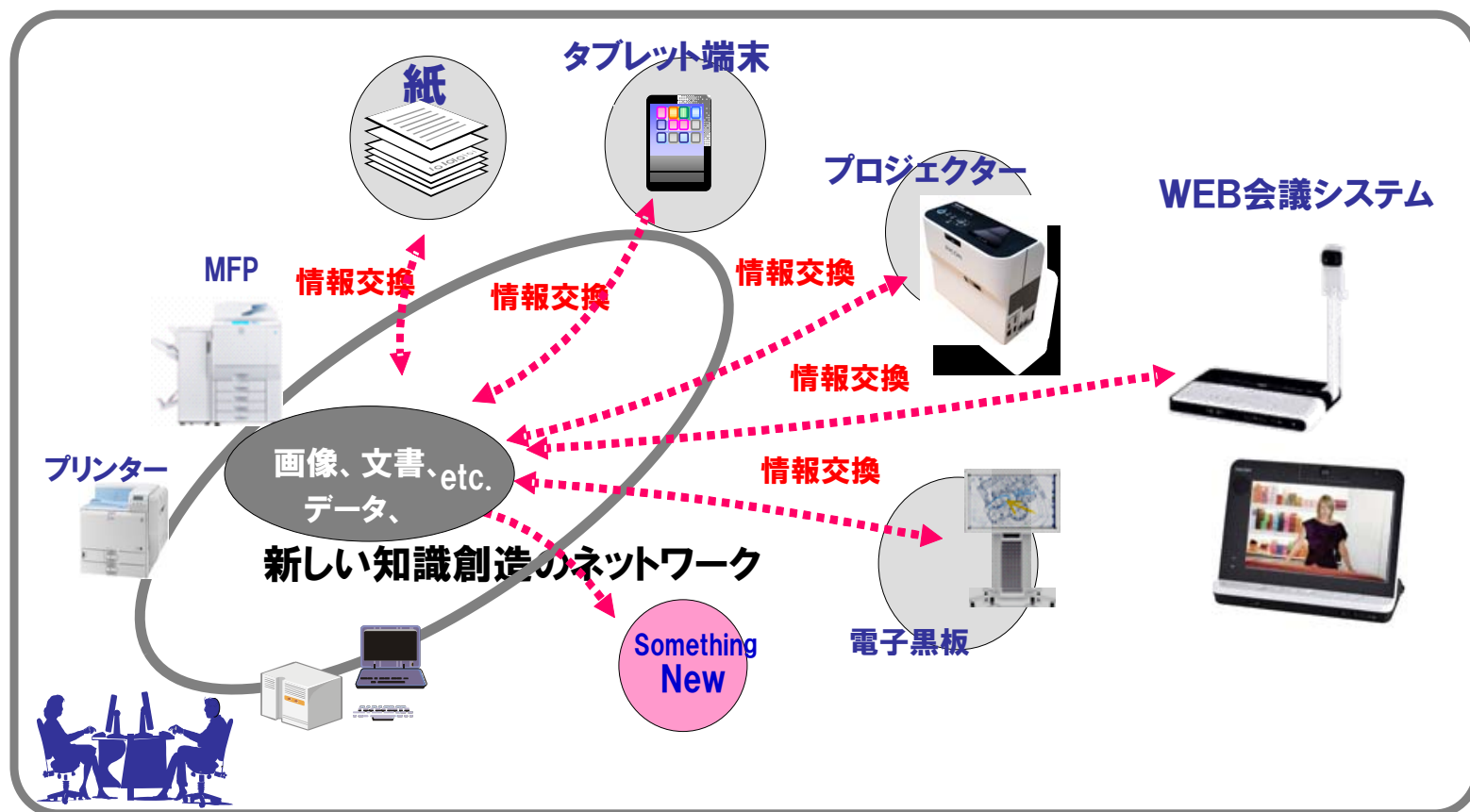
未来は「知識創造」型オフィスへ

◆オフィスの過去・現在・未来



IoT時代は、知識創造を機器が支援

- ◆ 近い将来、機器自身が使われ方を記憶して提案する時代に
 - @Remoteの描く未来はIoT社会そのものである。
その社会では、「新しい知識創造のネットワーク」が創造される。



- ◆ **今、時代の転換期**
～危機とするか？ 好機とするか？～
- ◆ **次世代に向けて、“未来を創る” 挑戦**
～発想は「現在起点」か？「未来起点」か？～
- ◆ **未来起点で想像し、今を変革する**
～ imagine. change.～

グローバルブランドを目指して
新たなイノベーションで未来を拓く

Never
Give up,
until
You win!



勝つまで、諦めずに 挑戦し続ける

RICOH
imagine. change.